

第6回委員会会議結果

会 議 結 果 要 旨	
第 6 回 委 員 会 議	<p>○「第4回委員会会議結果」関連 [主な意見及び対応]</p> <p>〈竹川委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 第4回委員会会議結果の合意事項については、必ずしも全員の合意確認が取られていないと思うので、再度検討頂きたい。 <p>〈工藤委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 合意事項の後に、合意しなかった少数意見もあった旨を付記してはどうか。 <p>〈佐野委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 今の合意事項の記述では、何か基本断面は変えずによりよい工夫をするだけと受け取れてしまうが、どうか。(事務局：第5回委員会で井上委員より、一度決めた断面で行くといったことは考えていない旨回答したところである。) <p>○「市川海岸塩浜護岸改修事業の事業計画及び実施計画等と再生会議との関わり」関連 [主な意見及び対応]</p> <p>〈工藤委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施した工事に係るモニタリング調査結果を次の工事にフィードバックするとなっているが、その関係の中に護岸検討委員会がどこかにあるべきではないのか。(事務局：今後、その仕組みを検討していきたい。) <p>〈竹川委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生会議の役割に、知事が再生計画に基づいて策定する実施計画は、環境調査等の事前の情報収集を行い、事業実施が再生に寄与することなどの評価をした上で、計画を策定するとされており、本図のように簡単な報告だけで済ませるということは、いかがなものか。 また、環境評価委員会との関わりが記述されていないので、それらを含めた図式にすべきである。(事務局：この1枚の資料では表しきれないが、再生会議で決められたルールに則って実施していく事としている。) <p>〈後藤委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで緊急対策をきちんと行うということで議論してきたが、その区分けがうまくいっていないので、注意しながら進めていく必要があるのではないか。 <p>〈佐野委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生会議から実施計画への矢印を追記した方が、より間違いのない実施計画となるのではないか。(事務局：そのようにしたい。)

会 議 結 果 要 旨	
第 6 回 議 会	<p>○「事業計画及び実施計画」関連 [主な意見及び対応]</p> <p>〈川口委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設道路部分は、捨て石を2割施工としているが、最終的には3割勾配にやり直すこととなり、これは自然体系へ負荷を与え、且つ費用面でも無駄ではないのか。(事務局：2割と3割の交互での施工も考えられるが、H鋼の間隔が狭く施工性が極めて難しいことから、H鋼の打ち込みに支障とならないよう一律2割としたものである。) ・ 全区間の護岸改修を5年プラス5年で行うと言っているが、そのためには、今の断面で良い場合、悪い場合の両方のケースを考えながら、見通しを立てなければ、架空の話となってしまう。(事務局：次の実施計画のこともあるので、色々な検討を行い委員会に諮っていききたい。) <p>6 〈佐野委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 護岸の透水性はどのように確保されるのか。また、矢板に穴を開けるといったことは可能か。(事務局：海水よりも地下水位が高い場合は、水圧の差で矢板の下を回っていくものと考えている。また、矢板の所々に穴を開けることについても考えている。) ・ エドハゼは貴重であるという専門家もいるので、工事箇所前面での魚類調査はできないのか。(事務局：これまでの現況調査と同様な調査方法で行うことから、ある程度の確認はできるものと考えている。) <p>回 〈及川委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AP+3m以上の被覆工事については、直接海に影響は無いと思うが、工事用車両等の出入りがあるので、かなり慎重に行われたい。 ・ 今後施工する工事を待ってのモニタリングも大事であるが、今年の8月に補強工事した1丁目地先の工事箇所で、先行したモニタリングを実施してはどうか。(事務局：参考になると思われるので検討したい。) <p>会 〈富田委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼矢板に穴を開けるのは、強度的に問題があると思うので、最初から防砂シートでの施工としてはどうか。また、メーター当たりかなり費用が掛かるようであるが、そのため5年、10年と掛かってしまうのであれば、無駄を省き、捨て石だけの施工が良いのではないか。(事務局：穴については、使用する鋼矢板の強度面での余裕の中で決めていきたい。また、工費が高いので、コスト縮減に努めていきたい。) <p>議 〈工藤委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施計画書の鏡の中の参考資料について、資料順序と記述順とが違っていたり、資料として付いているが、参考資料としての記述がされていないものなどがあるので、鏡と中身が一致するよう整理されたい。(事務局：この場での修正について提案。) ・ モニタリングで「ヤナイ調査」を追加されたい。(事務局：現地では当該手法で対応することとし、計画書は現行のままとしたい。)

会 議 結 果 要 旨	
第 6 回 会 議	<p>〈竹川委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この事業計画では、3丁目も3割の石積みとした基本断面で実施していくんだということがベースになっているように思われるが、3丁目については、今後検討委員会で検討することとしているので、事業計画の中で明確に表現することは、早すぎるのではないか。 ・ 円卓会議では、海域を狭めないという基本方針のもと、護岸は海に張り出さないとしており、更に海側に沿った公共用地の確保といったことなどを考えた場合、もう一回基本に戻って検討されたい。 ・ この場で決まった合意事項を、今回合意した場合、いろいろな問題提起ができなくなってしまうため、保留したい。 <p>〈倉阪委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 杭打ち時には、大きな騒音や振動が予想されるので、周辺への影響に留意されたい。また、本事項を資料の中に追記されたい。(事務局：この場での修正について提案。) ・ 「基本断面」を『試験断面』に、2)は「800m間については、毎年度実施するモニタリング結果・他の事例などさまざまな情報を基に『試験断面』を評価・検討し」と修文し、合意を取ってはどうか。(事務局：これまで色々検討してきたものを整理し、その結果の形を基本断面としたものであるため、基本断面での記述としたい。) <p>〈田草川委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 砂を入れ、かつての三番瀬にあったようななだらかな干潟を造り、底生生物や鳥類の回復などを見たうえで、それが良いのであれば、多くの人の納得をもって進めていけば良いのではないか。始めから入れるべきではないといった意見は、違うのでは無いかと思う。 ・ 塩浜のまちづくりについては、5年以内を想定しており、来年若しくは再来年には事業に取りかかりたいと考えている。 <p>〈清野委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニタリング結果を今後の設計に生かすうえで、現在の直立護岸前面での調査を増やすことが可能であれば、比較もでき別エリアをどのようにしていくのかの参考になるのではないか。(事務局：今回の提案内容で不足な場合、追加は可能であるが、2丁目のほぼ中央と1丁目地先での調査を計上しているので、比較できるのではないかと考えている。) ・ 17、18年度施工に係る断面は、背後地の利用形態が決まらない中での断面であり、背後地の条件によっては、高潮対策としての確実な機能があれば、断面も変わり得ると考えて良いのか。(事務局：事業期間内であれば可能である。) ・ 第4回の合意事項の2)の「基本断面」という記述は、それで行ってしまうといった雰囲気があるので、現在の基本断面を評価・検討し、より良い改善といったものも含めて検討するというようなニュアンスでの修文をしてはどうか。

会 議 結 果 要 旨	
第 6 回 会 議	<p>〈大野委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の計画は、一つの実験ということで実施を決めたのであるから、その結果を見て議論したほうが良いのではないか。 <p>〈後藤委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の事業計画は5ヶ年計画となっているが、実質上は17、18年度に限った工事内容であり、今後も色々な意見を聴いたりして、良いものに変えていくということが前提となっており、みんな合意しているはずである。 <p>〈矢内委員長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> （「合意していない委員がいる旨を付記するということで元に戻す」を受けて）合意事項については、倉阪委員から提案のあった「モニタリング結果等を基に」を「他の事例など様々な情報を基に」とした部分は、追加してもいいのではないか。 <p>※ 第4回委員会の合意事項のうち、2)の記述の一部を下記により修正の上、第8回三番瀬再生会議に諮問することが決定された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「モニタリング結果等を基に」 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「モニタリング結果・他の事例など様々な情報を基に」 <p>○「その他」関連</p> <p>※ 平成18年2月15日（水）に第7回委員会を開催することが決定された。</p> <p>〈倉阪委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 政治状況を見た場合、今、海岸線を固定しなければ、再度埋立と言う話が出てくる可能性があるということも考え、事業実施を判断する必要があるのではないか。
	<p>●傍聴者からの意見</p> <p>〈氏名不明〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 合意事項の取り纏めについては、安易にされては問題があるが、十分検討した上で、こういった少数意見があった旨を併記する形で処理されてはいかがか。 <p>〈今関氏〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 既に埋められたところも含めて、三番瀬を保全・再生していこうとして作られたのが再生計画であり、本事業はその計画に基づく一番最初の事業となるが、このような形で事業が行われることは許されないと思う。

